※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　公共　（第一学習社）						
副教材等	最新図説公共　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

公共という科目では、倫理・政治・法・経済などに関する概念や理論を学び、それらを多面的・多角的に考察し判断して、レポート課題をまとめたりグループで議論し発表したりすることを通して、国内外における様々な課題について考察・選択・判断することのできるような力の養成を目指します。授業を受けるにあたっては、選挙権や成人に関する規定が 18 歳となったことをふまえ、社会を形成する一員として積極的に学び、それを積極的に活用していく姿勢を求めます。

2　学習の到達目標

・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 ・諸資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	・よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　公共の扉	・公共的な空間をつくる私たち ・公共的な空間における人間としての在り方生き方 ・公共的な空間における基本的原理	a:個人として相互に尊重されるべき自立した主体である人間の、社会的な在り方生き方について理解している。 b:公共的な空間と人間との関わりや、人間と社会や文化の多様性・共通性に着目して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し表現している。 c:生涯における青年期の課題を人・集団及び社会との関わりから捉え、他者と共に生きる自らの生き方についての考察を深めている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力
	第2編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	・法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割 主題2 契約と消費者の権利・責任 主題3 司法参加の意義	a:憲法に基づく適正な手続きに則り、法や規範の下で各人の意見や利害を公平・公正に調整して問題の解決を図ることを通して、権利や自由が保障・実現され、社会の秩序が形成・維持されることを理解している。 b:合意形成や社会参画を通して、自立した主体として解決が求められる具体的な主題の解決に向けて、事実や論拠を基に他者と協働して考察し、表現している。 c: 18 歳成年をふまえ、契約や消費者の権利・責任などの法的な事柄を身近なこととして捉え、考察を深めようとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力

※令和４年度以降入学生用

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
２学期	第2編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	・政治的な主体となる私たち 主題4 政治参加と公正な世論形成 主題5 国際社会と国家主権 主題6 日本の安全保障と防衛 主題7 国際社会の変化と日本の役割	a: よりよい社会は、憲法の下で個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 b:国内外の政治的な諸課題について、法や政治および経済などの側面を関連させ、事実や論拠を基に他者と協働して考察し、表現している。 c:選挙権年齢が 18 歳以上であることをふまえ、地域や国の課題について自分自身の問題として理解し、解決のために取り組もうとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力
		・経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題 主題9 社会の変化と職業観 主題 10 市場経済の機能と限界 主題 11 金融のはたらき 主題 12 財政の役割と社会保障 主題 13 経済のグローバル化	a: 公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 b:公正かつ自由でグローバル化する市場経済システムの下で、自らの経済活動や国際社会の具体的な主題の解決に向けて、事実や論拠を基に他者と協働して考察し、表現している。 c:自立した経済主体として経済活動を行う上で必要な情報を積極的に収集し、自らの経済活動に活かそうとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・振り返りフォーム入力

※令和４年度以降入学生用

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
３学期	第３編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・地球環境問題 ～排出量取引を考える ・資源・エネルギー問題 ～ベストミックスを考える ・生命倫理 ～ゲノム編集を考える ・情報 ～インターネットによる投票を考える ・国際社会の課題 ～フェアトレードを考える	a:授業で取り上げる諸課題に関して、これまでに学んだ内容や様々な資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。 b: 諸課題の解決に向けて、これまでに学んだ内容を活用して、事実や論拠を基に他者と協働して考察し、表現している。 c: 諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、社会の担い手として解決のために主体的に取り組もうとしている。	・定期考査	・定期考査 ・ワークシート提出 ・グループ研究・発表 ・振り返りフォーム入力	・ワークシート提出 ・グループ研究・発表 ・振り返りフォーム入力

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度